

ぬり残しツリー

～発想の幅を広げるために～

- めあて
- 写生を活かしがら、さらに発想をひろげることを楽しむ。
- 準備物
- 色画用紙、マスキングテープ、ローラー、タンポ、コンテ（教師）
 - 絵の具、クレヨン、パステルなど（児童）



学習の流れ	実践上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○お気に入りの校庭の木を写生する。 ○前回の木のイメージをふくらませながら、マスキングテープで木を表す。 ○ローラー、タンポなどで色をつける。 ○テープをはがして、白く残った木を鑑賞し合う。 ○白く残った木から新たな発想をいかして思いついたことを表す。 ○みんなで「お気に入りの木」を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 枝ぶりや大きさ、幹の様子などをつかむために思い切って描けばよいことを伝える。 • 貼ってもはがしやすいことを体感させ、曲げたりちぎったりして表現させる。 • いろいろ試させ、気分にしっくり合う色を見つけさせるようにする。 • それぞれのお気に入りの色の中に浮かび上がった木を鑑賞し、どんなイメージか伝え合わせる。 • クレヨンやコンテ、パステルなど児童の使いたい描画材でかかせるようにする。 • 自分が気に入っている色や部分を発表させたり、友達の作品から得たイメージを発表し合ったりする。 • 詩を書いて鑑賞しても楽しい。